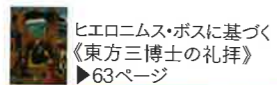


ヒエロニムス・ボスに基づく
《聖アントニウスの誘惑》
▶70ページ

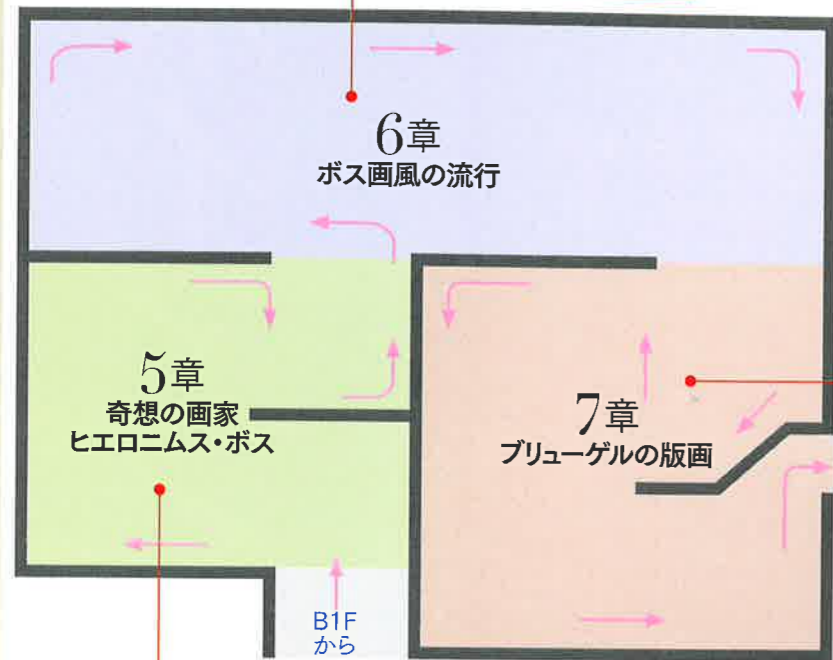


ヒエロニムス・ボスに基づく
《東方三博士の礼拝》
▶63ページ



企画展示室
1F

ボスと
版画の
フロア



- ヨハネス・ウィーリクス
《ピーテル・ブリューゲル1世の肖像》
▶22、32ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《聖アントニウスの誘惑》
▶47ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《希望》『七つの徳目』より
▶48ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《邪淫》『七つの大罪』より
▶48ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《大食》『七つの大罪』より
▶49ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《大きな魚は小さな魚を食う》
▶45ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《金銭の戦い》
▶44ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《石の切除》
▶49ページ
- ピーテル・ブリューゲル1世
《野ウサギ狩り》
▶34ページ



ヘンドリック・
ホンディウス1世
《ヒエロニムス・ボスの肖像》
▶64ページ



ヒエロニムス・ボス
《放浪者(行商人)》
▶50ページ



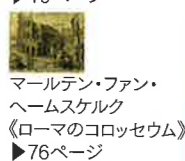
ヒエロニムス・ボス
《聖クリストフォロス》
▶58ページ

企画展示室
2F

いよいよ
『バベルの塔』
と対面!



ヒエロニムス・コック
《コロッセウムの眺め》
▶10ページ



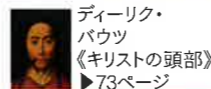
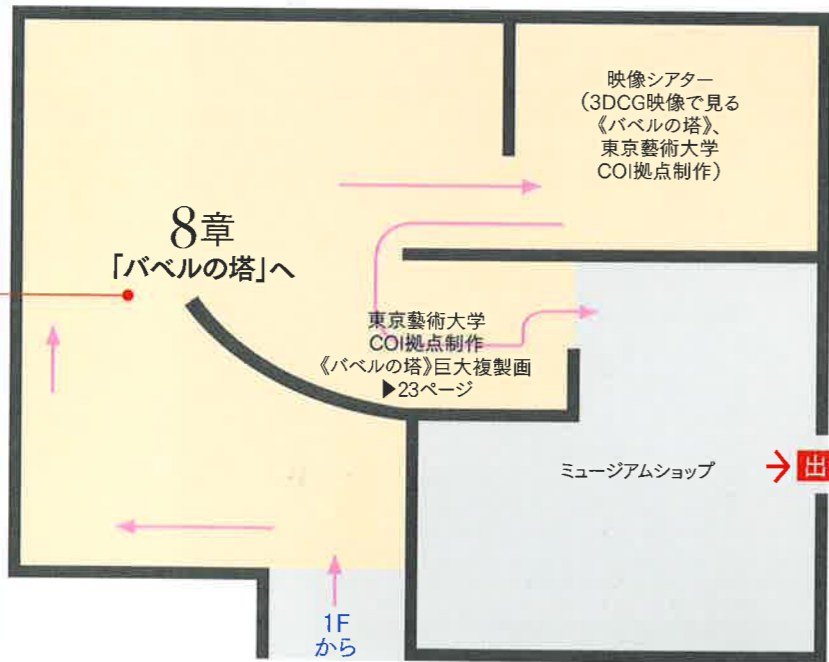
マルテン・ファン・
ヘームスケルク
《ローマのコロッセウム》
▶76ページ



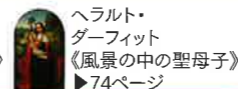
マルテン・ファン・
ヘームスケルク
《バベルの塔の破壊と
人々の離散》
▶21ページ



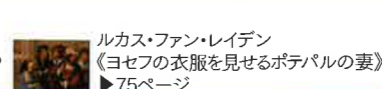
ピーテル・ブリューゲル1世
《バベルの塔》
▶08ページ



ディリック・
パウツ
《キリストの頭部》
▶73ページ



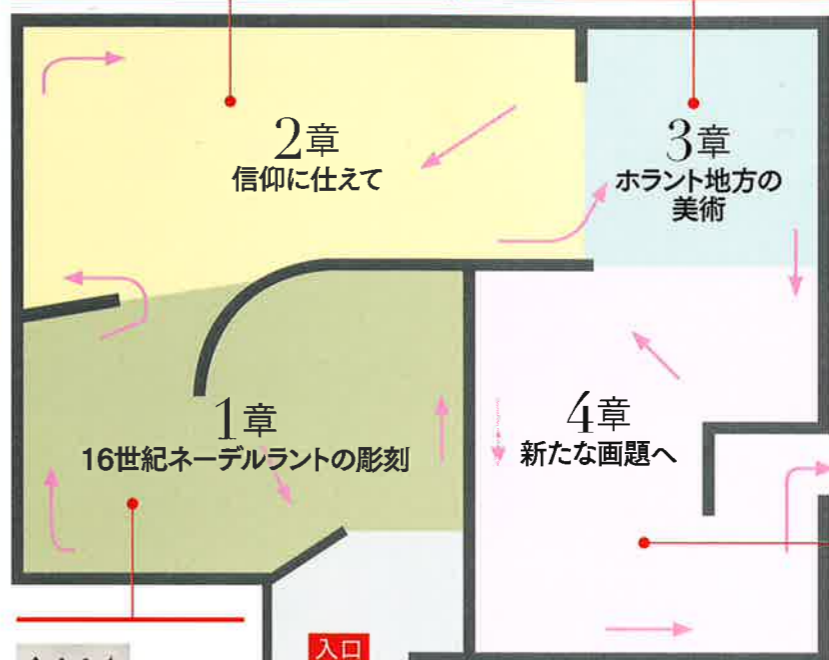
ヘラルト・
ダーフィット
《風景の中の聖母子》
▶74ページ



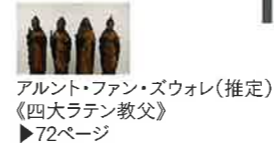
ルカス・ファン・レイデン
《ヨセフの衣服を見せるポテパルの妻》
▶75ページ

企画展示室
B1F

まずは
この階から
スタート



- ヨアヒム・パティニール
《ソドムとゴモラの滅亡がある風景》
▶75ページ
- ヨアヒム・パティニール
《牧草を食べるロバのいる風景》
▶63ページ
- マルテン・ファン・ヘームスケルク
《オリュポスの神々》
▶77ページ
- ヘリ・メット・デ・プレス
《聖クリストフォロスのいる風景》
▶62ページ
- ヤン・ファン・スコレル
《学生の肖像》
▶74ページ



アルント・ファン・ズウォレ(推定)
《四大ラテン教父》
▶72ページ



東京会場では、8つの章を3つのフロアに分けて巡ります。16世紀ネーデルラント美術の歴史を辿る展示構成を教えるよ！ 大阪会場は違う会場レイアウトになるから、注意してね！

※
タバレ注意!

ブリューゲル「バベルの塔」展@東京都美術館

先取りチェック!
見たい作品はどこにある!?

※作品の展示場所は、実際と異なる場合があります。大阪会場(国立国際美術館)の会場レイアウトは異なります。

